



# 奈良県経済の概況

一部に弱さもみられるものの、緩やかに持ち直しの動きが広がりつつある

**個人消費** ▶▶▶ 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 3 か月ぶりの減少

**住宅着工** ▶▶▶ 新設住宅着工戸数は前年同月比 5 か月ぶりの増加

**公共投資** ▶▶▶ 県公共事業契約済額は前年同月比 2 か月連続の増加

**雇用情勢** ▶▶▶ 有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント上昇の 1.38 倍

**企業倒産** ▶▶▶ 倒産件数は 3 か月連続の一桁台

**生産活動** ▶▶▶ 鉱工業生産指数は前月比 3 か月連続の上昇

## 1

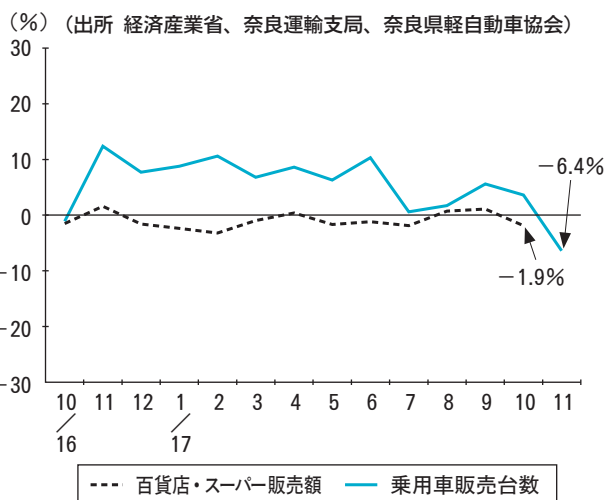
### 個人消費

#### 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 3 か月ぶりの減少

10月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、速報）は、前年同月比 1.9%減の 180 億 92 百万円と 3 か月ぶりの減少。衣料品は同 3.7%減、飲食料品は同 1.6%減となった。なお、既存店ベースでは同 0.4%減と 3 か月ぶりの減少。

11月の乗用車販売台数（普通＋小型＋軽）は前年同月比 6.4%減の 3,424 台と、13 か月ぶりの減少。車種別にみると、普通乗用車は同 2.1%増の 1,267 台と 4 か月連続の増加、小型乗用車は同 25.0%減の 973 台と 2 か月連続の減少。軽乗用車は同 5.5%増の 1,184 台と 3 か月連続の増加となった。

百貨店・スーパー販売額、乗用車販売台数（前年同月比）



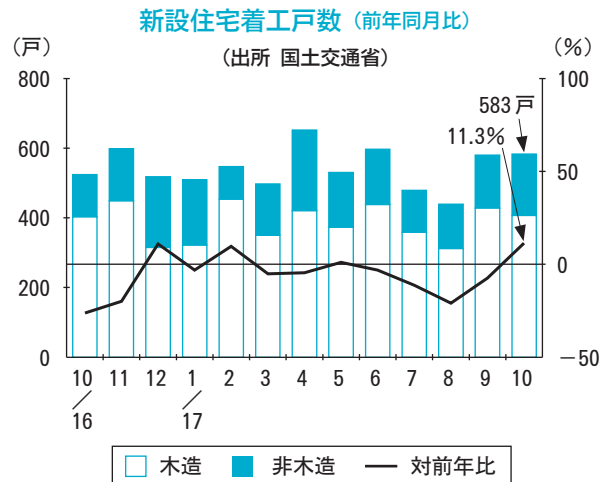
## 2

### 住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 5 か月ぶりの増加

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 11.3%増加し 583戸。持家、貸家、分譲住宅が全て増加した。全体では 5 か月ぶりの増加。

利用関係別にみると、持家は前年同月比 4.0%増の 235戸と 6 か月ぶりの増加、貸家は同 25.5%増の 202戸と 2 か月連続の増加、分譲住宅は同 27.0%増の 146戸と 8 か月ぶりの増加となった。



## 3

### 公共投資

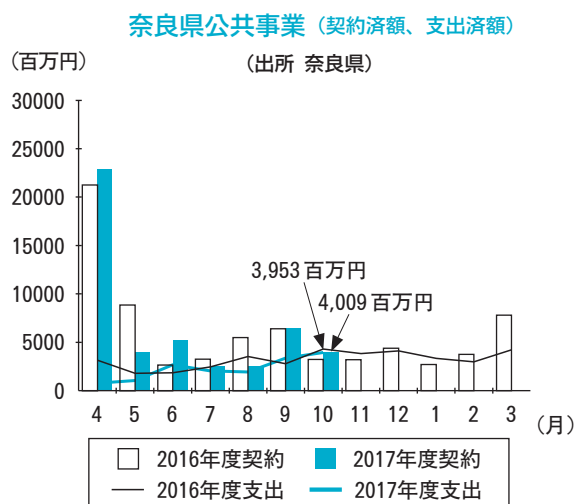
県公共事業契約済額は前年同月比 2 か月連続の増加

10月の奈良県の公共事業等事業施行状況は、契約済額が前年同月比 24.1%増の 40 億 9 百万円と 2 か月連続の増加、支出済額は 8.3%減の 39 億 53 百万円と 2 か月ぶりの減少となった。

(11月分未公表につき前月号と同じ)

次に、西日本建設業保証の保証取り扱いから 11月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比 24.8%減の 51 億 86 百万円と 2 か月ぶりの減少。

発注者別にみると、国は 11 億 81 百万円（前年同月比 7.1%増）、独立行政法人等は 2 億 43 百万円（同 73.6%減）、県は大和郡山市の浄化センター 1 系反応槽散気装置更新工事などにより 15 億 71 百万円（同 10.8%減）、市町村は 20 億 26 百万円（同 28.8%減）、その他の公共的団体は 1 億 65 百



万円（同 39.3%減）となった。

# 4

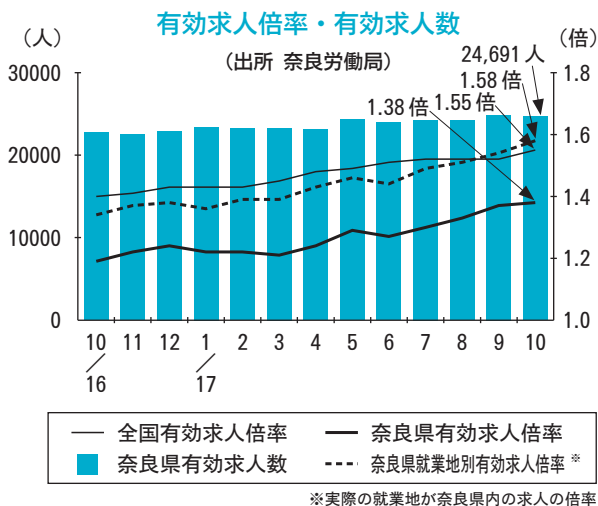
## 雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント上昇の 1.38 倍

10月の雇用情勢をみると、求人数は、新規求人数（季調値）が前年同月比 1.3% 減の 8,138 人と 7 か月ぶりの減少、前月比は 11.5% 減。有効求人数（同）は前年同月比 8.5% 増の 24,691 人と 30 か月連続の増加、前月比は 0.6% 減。

一方、求職者数は、新規求職者数（季調値）が前年同月比 9.5% 減の 4,064 人と 2 か月ぶりの減少、前月比は 5.6% 減。有効求職者数（同）は前年同月比 6.2% 減の 17,920 人と 22 か月連続の減少、前月比は 1.0% 減。また、雇用保険受給者の実人員数は前年同月比 0.6% 減の 4,231 人と 20 か月連続の減少。

以上により、新規求人倍率（季調値）は 2.00 倍（前年同月比 0.16 ポイント上昇、前月比 0.14 ポイント低下）となった。有効求人倍率（同）は 1.38 倍（前年同月比 0.19 ポイント上昇、前月比



0.01 ポイント上昇）となった。なお、就業地別有効求人倍率は 1.58 倍（前年同月比 0.24 ポイント上昇、前月比 0.04 ポイント上昇）であった。

# 5

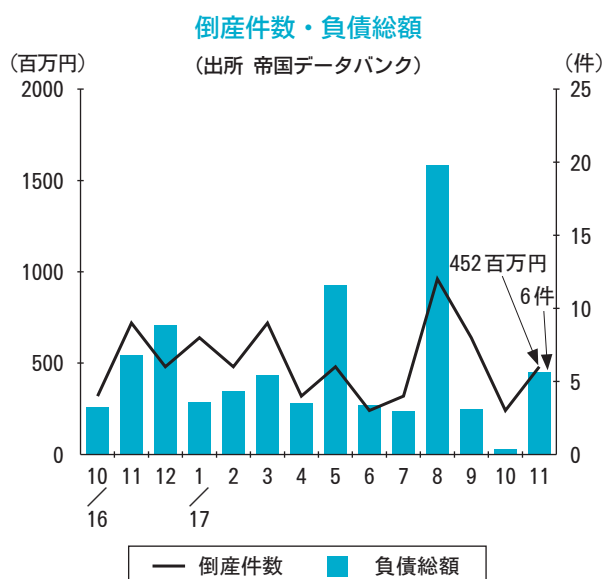
## 企業倒産

倒産件数は 3 か月連続の一桁台

11月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 33.3% 減の 6 件で、2 か月連続の減少となり、3 か月連続の一桁台。負債総額は同 17.2% 減の 4 億 52 百万円と 3 か月連続の減少となった。

負債額別では、1,000 万円～5,000 万円未満が 3 件、5,000 万円～1 億円未満が 2 件、1 億円～5 億円未満が 1 件となった。

従業員別では、0～4 人が 4 件、5 人～19 人が 2 件であった。要因別では、全てが競争の激化や消費動向の停滞などを背景とした販売不振であった。業種別では、建設業が 3 件、小売業が 2 件、その他が 1 件であった。倒産形態では、全てが自己破産であった。



# 6

## 生産活動

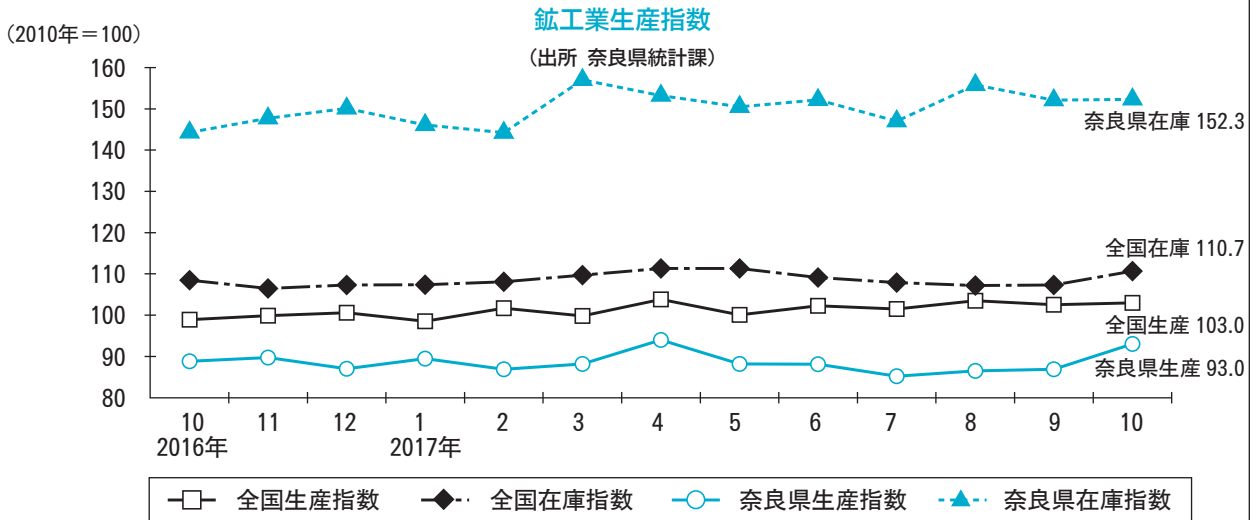
### 鉱工業生産指数は前月比3か月連続の上昇

10月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比7.0%上昇の93.0となり、3か月連続の上昇。原指数は前年同月比5.6%上昇の95.9となり、11か月ぶりに上昇。在庫指数（季調値、速報値）は、前月比0.1%上昇の152.3となり、2か月ぶりの上昇となった。

業種別生産指数の動きを見ると、一般機械工業、

化学工業、輸送機械工業等の7業種が前月上昇し、印刷業、その他製品工業、金属製品工業等の10業種が同低下となった。

100.0を超える水準にあるのは、化学工業（146.4）、印刷業（140.7）、一般機械工業（140.6）、パルプ・紙・紙加工品工業（119.2）、輸送機械工業（112.1）の5業種となり前月比3業種減少した。



### 奈良県鉱工業生産指数、在庫指数の業種別の動き（10月）

(注) 生産系列の総合指数（季節調整済指数）で上昇・低下に寄与した業種の順番で掲載している。前月比、前年同月比は（%）

業 種 名	生 産				在 庫		
	季節調整済指数		原 指 数	季節調整済指数		原 指 数	
	前月比	指 数	前年同月比	前月比	指 数	前年同月比	
上 昇	一 般 機 械	36.1	140.6	32.6	▲13.3	180.3	▲24.1
	化 学 工 業	17.8	146.4	23.9	5.2	126.4	15.0
	輸 送 機 械	4.9	112.1	11.3	—	—	—
	食 料 品 ・ た ば こ	1.7	96.9	10.2	▲1.0	113.5	0.3
	電 気 機 械	42.9	5.0	▲83.6	16.4	7.1	▲69.3
低	織 維 工 業	2.3	78.4	▲3.0	5.4	119.3	12.1
	ゴ ム 製 品	2.2	73.0	3.5	4.7	107.9	19.3
	印 刷 業	▲16.2	140.7	▲6.5	—	—	—
下	そ の 他 製 品	▲20.4	90.5	▲15.6	x	x	x
	金 属 製 品	▲8.4	99.6	▲1.8	24.6	109.5	15.0
	プ ラ ス チ ッ ク 製 品	▲4.8	86.0	7.0	▲0.7	87.5	▲7.6
	木 材 ・ 木 製 品	▲11.8	91.2	▲0.6	▲1.0	125.6	6.5
	窯 業 ・ 土 石 製 品	▲12.2	77.3	▲35.5	▲6.0	30.0	▲9.4
	非 鉄 金 属	▲6.1	78.8	1.1	▲3.2	91.1	▲9.4
	皮 革 製 品	▲20.8	52.6	▲15.9	2.1	107.6	4.2
	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	▲1.2	119.2	0.8	0.1	222.2	15.1
	鉄 鋼 業	▲1.8	91.8	12.9	▲4.0	136.2	▲1.7

(注) x：対象企業が少いため公表されていない。